

## 町内の河川をきれいに クリーン作戦を実施

3月13日、観音滝公園内の穴川でクリーン作戦が実施されました。

これは「川内川を日本一の清流に！」をスローガンとする川内川一斉クリーン作戦の一環として毎年おこなわれているもので、今回が6回目。当日は前日の雨もあがって良い天気となり、約60名が参加して川内川支流の穴川河川敷で、ゴミを回収しました。

参加者は「昔に比べるとずいぶんゴミが少なくなっているようだけど、まだまだ落ちているね!」「上流で捨てられたのが流れてきたのかなあ。」などと話しながら、大きな岩の間に挟まったゴミを拾い集めていました。

約1時間の回収作業でしたが、空き缶、空き瓶、ペットボトルなど、2トンダンプ1台分のゴミが集まりました。



▶ゴミを拾い集める参加者たち

## 品質の高い 薩摩の黒牛!

2月22日、改善センターで、第2回町肉用牛振興大会が開催されました。

この町肉用牛振興大会は、5年に1回おこなわれているもので、今回は増頭と優良雌牛の更新拡大をテーマに開催されました。大会では、各表彰並びに講演、抽選会などもおこなわれ、会場は熱気に包まれました。

「私の肉用牛経営について」という演題で講演された串良町の畜産農家の肥後桂子さんは「京都から帰ってきたら牛の値段も暴落しており途方にくれた。しかし子牛の出荷を早くするなど工夫しながら経費削減に取り組んだ結果、経営が少しずつ軌道に乗り始めました。」と自分の経験を交えながら話をされました。

「優良雌子牛の自家保留を中心に増頭運動を推進し子牛出荷頭数900頭を達成しよう」など5つの大会スローガンが会場の拍手を持って採択されました。



▶表彰を受ける中津川畜産振興会

### 表紙の説明

小・中学校で入学式開催

4月6日、町内の各学校では、希望に胸を膨らませた新一年生の入学式が開催されました。

中津川小の入学式では、6名が上級生の作ってくれた花のアーチをくぐり入場。新一年生は早速みんなの前で、担任の安山真智子先生から紹介を受けると、大きな声で「はい」返事をしました。

鬼塚幸一校長は式辞の中で「入学おめでとう。中津川小全員でみんなが入学してくるのを待っていました。元気なあいさつができるようになってください。」と話しました。

また在校生の小松正弥君が「学校で何か困ったことがあったら何でも相談してください。勉強も始まるので、がんばって。また行事もたくさんあるので楽しみにしてください。」と励ましました。

他町内では求名小が9名、永野小が8名、薩摩中が52名入学し、新たな学校生活をスタートさせました。

### びっくり箱



〔作文〕(学年は旧学年です) 将来の夢

薩摩中三年 森重未希さん  
私の将来の夢は介護福祉士になることだ。この仕事につきたいと思い始めたのは、中学二年での福祉体験をおこなった時からである。

その時に、高齢者の方とふれあう、介護士の姿を見てすごく感動した。高齢者との接し方や食事のさせ方には、すごく心をひかれるものがあった。やさしい笑顔には、高齢者の方も安心していられるようにも見えた。

そして、お話を伺った。「この仕事について良かったこと、苦労したことは?」と聞くと、「苦労したことはたくさんある。でも良かったことは数えきれないほどある。とてもやりがいのある仕事だ。」と答えてくれた。

確かに、楽しい仕事なんて存在しないと思う。楽しい仕事があったとしても、やりがいのある仕事ではないと思う。